

黒部を未来へつなぐ

ご挨拶

【不退転の決意で2期目のスタート】

1期4年間の活動を通じて皆様方から多くのご指導ご支援をいただき、立候補することができ、10月21日執行の黒部市議会議員選挙において当選をさせていただきました。そして**11月1日より黒部市議会議員2期目のスタート**をいたしました。無投票当選だったことを真摯に受け止めて、不退転の決意で取り組みます。

【皆さん、幸せですか】

どんな境遇の子どもであろうと将来に夢を持ち、大人になったら自立できる社会にしたいと思っています。その為には私たち大人がしっかりしないといけないですし、**高齢者の生活もより良くしていかなければいけない**と考えています。子どもは私たち大人、私たちは高齢者が未来の姿、鏡です。だとしたら未来の姿が幸せでなければなりません。

【これからの4年間は】

本市は本年4月より今後10年間の第2次黒部市総合振興計画がスタートしました。黒部市発展と全市民が幸せであり続けるために、計画どおり実行されているのかチェックと後押しすること。そして今後も**「小さな声もしっかり耳を傾け、市政に反映する」「未来をしっかり見据えて、子ども達にふるさと黒部を繋いでいく」**この2つを常に考えながら、市民に信頼される議員であり続け取り組んでいきたいと思っています。

黒部を未来へつなぐ 成川まさゆき

MASAYUKI NARIKAWA



11月1日、改選後の組織議会となる臨時議会の構成が決まりました。

- 会 派：自民同志会
- 委 員 会：総務文教委員会 委員長
議会運営委員会 委員
- 組合議会：新川地域消防組合議会 議員



黒部は今、分岐点！ 先人の努力を次世代へ つないでいきたい。

なりかわ

成川まさゆき

facebookで活動公開中！



【平成30年6月議会 一般質問】

1. 芸能文化の振興について（「布施谷節」の継承存続が危機的状況にある）

（問）郷土芸能文化の現状認識を伺う。

（答）伝承芸能は、地域の大切な宝だと思うが、若い世代の担い手への継承が難しくなってきていると認識している。



（問）クラブ活動の継続について

（答）

学校名	クラブ名	人数	活動
たかせ小	民謡クラブ	9名	月2回放課後練習、芸術文化祭や地域の敬老会等で踊り披露
鷹施中	民謡部	11名	地区の敬老会や中学校の文化祭等で披露
	三味線部		体育大会で「布施谷節」を披露

民謡部、三味線部のどちらの部にも、現在1年生が所属していることから、今後、中学校再編後も継続していく方向で考えている。

また、学校単位ではなく、それぞれの地域の伝統芸能をどのように進めればよいのか市全体として検討する必要がある。

（問）文化財の保存・活用に関する「地域計画」の策定を。

（答）保存団体をはじめとする地域の皆様が文化財の活用・継承をどのように望まれるか等の意見を踏まえた上で検討したい。

【まさゆきの視点】

人口減少、少子高齢化の影響がこういうところまで来ています。ふるさと黒部を愛する者の一人として、「変わらなければいけないもの」「変わってはいけないもの」があると思っています。先人たちから受け継いだものを私たちの時代で無くす判断をして良いのでしょうか。しっかり次の世代に素晴らしい黒部が残るように願います。

2. 子ども・若者支援について（16歳からの支援が見えません）

（問）中学校卒業後の進路は

（答）平成29年市内中学卒業生



卒業生数	高校進学者数	就職者数	進学・就職無し数
372名	368人	1名	3名

（問）中学校卒業後の支援は

（答）高校入学前に中学から高校へ支援が必要な生徒の情報をしっかり伝え、その後の状況についても常に気かけ情報を得るように心がけている。黒部市の未来を担う子ども達の自立に向けて、総合的に進めていく必要があるものと考えている。

的に進めていく必要があるものと考えている。

詳細は把握していない。本人や家族が相談できる場所の確保や相談機会に関する情報提供は重要なことと考えており、関係部局と連携して支援に努めていく。

（問）家族への支援について

（答）・就学・進路の相談ができる「にこにこ相談会」の相談件数

平成28年度	平成29年度	高校生の相談
45件	40件	0件

・ひきこもり相談

新川厚生センター	月1回
にいかわ若者サポートステーション	個別面談可。就業体験や終活セミナー等も可。

高校で不登校になったり、退学したりした生徒の実数については、

（問）子ども・若者支援地域協議会を設置しては

（答）「にいかわ若者サポートステーション」「富山県東部生活自立支援センター」などの団体により対象となる年齢層がカバーされ、本人だけでなく家族の支援も行っている。また、団体間の連携も図られ、必要に応じて保険・福祉・教育との連携も取られており、支援を必要とする方に対し多様なアプローチがされている。

当面は、これらの相談機関が対象となる方への支援を行い、既存のネットワークを充実させることが、支援を受ける側にとっても効果的であると考えている。

果的であると考えている。

平成30年9月議会 新風の会代表質問

1. シティプロモーションとシビックプライドの醸成について（市の魅力創出と市民としての誇り）

（問）黒部のPRに使用している写真の管理と新規撮影及びドローンによる航空撮影。

（答）写真については、それぞれ市、または民間企業において、管理されている。今後、魅力的な写真を発信していきたい。「ドローンの写真撮影」について使用する計画はないが今後、活用方法を検討する。

（問）スマートフォン用ホームページに対する考えは。

【まさゆきの視点】

行政の施策はスポットライトのようなもので、光が当たっているところは明るい、その周辺は暗く、支援が届かない場所になるということ。そこを明るく照らす事が私たち議員の役目だと思っています。支援する現場からの声を届けて、今後も訴え続けていきます。

皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください

後援会
連絡先

成川正幸（なりかわ まさゆき） TEL (0765)57-1189
黒部市植木 107-7 FAX(0765)57-1189
携帯 090-1317-7155 Mail : masa.narikawa@gmail.com



(答) 昨年度は、約 46% がスマートフォンやタブレット端末からの閲覧となっている。本市ホームページは、本年度中の更新に向け作業を進めており、スマートフォン用ホームページについても対応する。

HOME PAGE 対応



(問) 「中学生議会」「こども議会」などは出来ないか。

(答) 勉強会、質問検討等、多くの時間を要することもあり、今後どのような方法が良いか、さらに検討する。

(問) 北陸新幹線開業時、「まっすぐ黒部」のコピーが良く使われていたが、今後の誘客向けコピーの考えは。

(答) 引き続き「まっすぐ黒部」のロゴマークを活用していく。

(問) 本市で行われる大型イベントを一括して紹介できないのか。
 (答) 本年度中に予定しているホームページの更新に合わせインパクトや見やすさなどを工夫するとともに、本市主催以外のイベントについても集約することを検討する。

【まさゆきの視点】

一人でも多くの若者が黒部に住んでほしい。良いまちだと思ってほしい。その為にはどうすれば良いのか。そういう思いで質問しました。

2. 防災対策について（備えは万全か）

(問) 本市でのハザードマップの認知度はどれくらいか。

(答) 数値で示すことは難しいが、取り組みを通じて、認知度の向上に努めていきたい。

(問) ハザードマップを知ってもらう、見てもらうためにハザードマップを活用した机上訓練を実施してはどうか。

(答) 今後、市の出前講座においてハザードマップ等を活用した机上訓練を選択メニューに加えることも検討したい。

(問) 防災訓練に参加していない方への防災意識の周知方法と外国人や町内会未加入者に伝える方法はどうか。

(答) 各種イベントへの参画などにより多くの方の目に触れる場所での展示などを行っていかほか、みらーれテレビなどのメディアによる周知も図っていきたい。また、外国人への周知については、専用アプリによる防災情報の提供やハザードマップの多言語化について、今後検討したい。

(問) 福祉避難所の設置状況と今後の取り組みについて

(答) 現在、6 施設の福祉避難所があり、今後も市内の福祉施設等に福祉避難所として協力してもらえるよう働きかけていきたい。

なお本年、市の防災訓練において一般避難所から福祉避難所で受け入れる訓練を実施したが、来年度以降も引き続き、福祉避難所と連携して実践的な受け入れ訓練を実施したい。

また、備蓄品等については、市や施設の備蓄状況を考慮、不足分の整備を進めていきたい。

【まさゆきの視点】

想定外を少しでも無くすること。防災意識向上とあらゆる角度からの準備が市民を災害から守ることに繋がると考え、質問しました。



(答) 「補助交付金評価シート」を活用し、その評価結果に基づいて事務事業の改善・見直しを行い予算要求することとしている。

予算化された内容を市民の皆さんへ説明することを通して交付団体においてもその旨を理解していただくことで、漫然と市の支援を受けることにならないよう取り組んでいる。

【まさゆきの視点】

人口減で税収が減っていくことから、出来るところと連携して、住民福祉の充実に繋げていくことが重要だと思い質問しました。

3. 市内外との連携・交流の促進について（フルセット行政から脱却）

(問) 全国の自治体との連携強化を。

(答) 環境が異なる地域との連携により、それぞれの地域の課題解決に結びつけることが可能か検討することも必要と考える。

(問) 民間・大学などとの連携を積極的に進めてはどうか。

(答) 今後、これまで以上に民間企業や大学などとの連携を図り、新たな発想も取り入れながらまちづくりを進めていきたい。

(問) 各種団体の補助金交付に関する今後のあり方についての考え方は。

4. 市内の使われていない土地・建物について

(問) 現在の空き家ランク別の推移・数と課題は。

ランク	A	B	C	D(特定空き家)	全空家数
平成 29 年 1 月末	39	42	876	31(14)	988
平成 30 年 8 月末				19(3)	

空き家等のランク状況の調査については、2021 年度に実施を予定している空き家等対策計画更新の際に市内全域において行いたい。課題については、空き家の劣化が進行しないよう適切な管理、利活用可能な空き家の有効活用であり、市としても、所有者への意識啓発に努めていく。



(問) 空き家情報バンクの課題と今後の進め方は。認知度を高めていくことが課題である。

(答) 今年度、「空き家情報バンク仲介報奨金」制度を創設し、従前からの「空き家情報バンク活用促進補助金」や「登録空き家リフォーム等補助金」制度と合わせて、市ホームページやイベント等で周知している。また、黒部市立地適正化計画で定めた「居住誘導区域」内の空き家の所有者に対しても「空き家情報バンク」への登録を促すダイレクトメールを送付するなど周知している。

(問) 貸店舗情報を市でもPRできないか。

(答) 本年11月までに「空き店舗情報バンク」を整備し、黒部商工会議所、市ホームページにおいて公表することとしており、貸店

舗情報について、市や会議所に相談があった場合などに活用したい。

(問) 市が管理する公共施設や未利用地について、計画どおり進められているか。

(答) 当初の利用目的がなくなり、将来的にも有効活用が見込めない土地については、処分を進めている。また、旧施設の跡地についても売却処分を基本とし新たな歳入の確保に努め、行政サービスへの充実により市民に還元していきたい。



【まさゆきの視点】

空き家問題は、まちづくりの大きな課題。住みやすいまちが住みたいまちに！そのためには、公共施設や未利用地の利活用も含めて本市まちづくりのデザインを考えなければいけないと思います。



けた取組については、既存の施策、事業の妥当性、有効性、効率性を改めて検証した上で、緊急度が高いと判断したものから順次、「選択の中の選択」、「組み換え」による重点化を進め、予算へ反映させていきたい。

**新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会
平成30年8月定例会**

1. 第7期介護保険事業計画の実態調査について

(問) 実態調査から①訪問型サービス、②配食サービス、③後見人制

5. 市政運営について

(問) 本市の運営についての考え方を。

(答) 「選択と集中」を更に一步進化させて「選択の中の選択」により、地域の活力創出につながる投資も着実に進めていきたい。市長公約である「健やか」「展やか」「朗らか」黒部の創造に向

度などがニーズと考えることから、それぞれの利用状況は

サービス名	平成29年度月平均	支出額
訪問介護サービス	477名	337,256,290円
生活援助が中心となる要支援、介護予防、生活支援サービス事業対象者	255名	53,347,137円
配食サービス	延人数 24,122名	10,372,049円

(問) 介護者の負担軽減のためにサービスをもっと周知を

(答) 介護を必要とされる方に十分な情報が提供されるよう体制を整えていきたい。

2. 介護職員確保について

(問) 将来の介護人材の裾野を広げていくための認知症サポート

(答) 養成講座の受講者を増やすこと。特に児童生徒であり、現在の児童生徒の受講状況はどうか。

構成市町村名	開催数	受講者数(児童生徒数)
黒部市	18回	508人(157人)
入善町	11回	350人(197人)
朝日町	6回	119人(0人)

(問) 人材育成の場の提供と潜在的有資格者へのアプローチは

進事例を参考にするなど、今後事業者において検討していただく必要がある。

【まさゆきの視点】

「人材確保なくして社会保障の維持なし」危機感を持って取り組んでいかなければと考えています。



(問) 現在の外国人の受け入れ状況と考えを伺う。

(答) 「外国人技能実習制度」による受け入れについては、入国時に、一定程度の日本語力を課している事から、全国的にみて低調な状態となっている。

外国人の実習生が増えていく可能性は十分にあると考えられ、先



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください

後援会
連絡先

成川正幸(なりかわ まさゆき) TEL (0765)57-1189
黒部市植木 107-7 FAX(0765)57-1189
携帯 090-1317-7155 Mail : masa.narikawa@gmail.com





まさゆき見聞録 (平成 30 年 4 月～ 10 月)

素晴らしい人・事・物を求めて全国各地にお邪魔。

平成 30 年 10 月 28 日

ねむの木学園 創立 50 周年記念 運動会

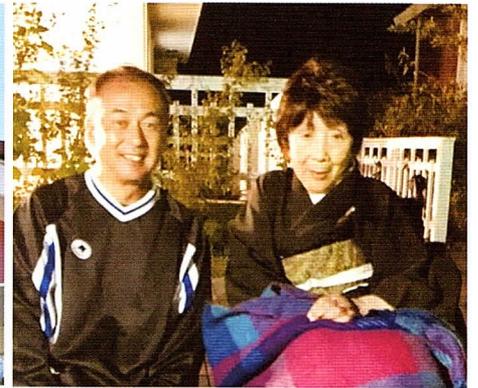
ねむの木学園は昭和 43 年に日本初の肢体不自由児のための養護施設を女優でもある宮城まり子先生が設立した学園です。

その静岡県掛川市にある「ねむの木学園」の運動会にご縁があってボランティアスタッフとして参加してきました。全国各地から千人を超える方々が来場される大きなイベントで、10 時 45 分に開会し 15 時閉会まで一つの公演のような今まで見たことがない素晴らしいものでした。私の主な仕事として、来賓駐車場整理、来場者に記念品配布、終了後に会場後片付け。来場された方々は皆さん終始笑顔。お帰りの際には皆さん、「ありがとう」「お世話になりました」と私たちにも声を掛けていただき、参加して良かったと心の底から思えた運動会でした。特に運動会最後に「やさしくね やさしくね やさしいことは強いよ♪」と来場者全員での歌声は心まで響きました。

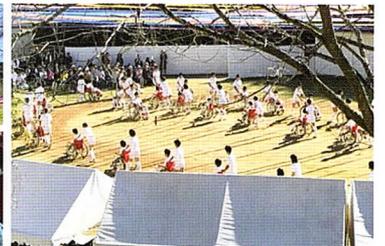
ねむの木学園



宮城まり子先生と



会場いっぱいの来場者



運動会競技

平成 30 年 7 月 12 日

ふじようちえん 視察

テレビ番組「情熱大陸」等さまざまなテレビ・マスコミ等で世界から注目を集めている東京都立川市にある園児約 650 名が通う幼稚園です。その幼稚園の加藤園長とは NPO 全国元気まちづくり機構という団体で知り合い 10 数年のお付き合いですが今回初めてお邪魔することができました。

園内はあえて不便にするなど、いたる所に子供が成長する工夫があり、子供の独自性、独立性を大切に育てるという方法のモンテッソーリ教育を実践しています。

例えば、

- ①玄関のスリッパが置いてある場所にテンプレート
- ②園庭に設置された水道蛇口をひねると自分の足に水が掛かる、流し台のない水道

③教室の照明は電気の仕組みを体験できるように紐を引っ張って点灯させる裸電球

④わざと隣の部屋の声が聴こえるようなオープンの部屋など、見て聴いて驚きの連続の時間でした。



職員室の正面の園長先生



屋上でかけっこ

平成 30 年 7 月 11 日

のざわテッターひろば 視察

今回、親交のあるテッターひろばの元代表である広吉敦子氏（目黒区議会議員）より、お声をかけていただき視察してきました。

のざわテッターひろばは、世田谷区野沢にあるプレーパークと呼ばれる子どもたちが外遊びできる場所です。

木登り・水遊び・泥んこ遊びに焚き火等、やってみたいことができる場所で、本当の危険から身を守るためには危ないこと、ケガする経験も大切だという考え方から運営されています。広場にはプレリーダーと呼ばれる大人が常駐し、楽しく安全に遊べるように、また、親子が安心して過ごせるような居心地の良い場所を整備するほか、地域の人達が共に自然に支えあうように関係づくりをコーディネートしてくれます。

全国にはこういったプレーパークと呼ばれる遊び場が都会

を中心に 230 か所運営されています。(NPO 日本冒険遊び場づくり協会 HP より) しかしながら、富山県内には現在ありません。「近年、子ども達が外で遊ぶ姿が見られなくなった」とよく耳にします。黒部市にもこういった場所があると良いなと思いました。



正面より



滑り台と大きな木

なりかわ 黒部市議会議員 成川まさゆき



facebook で 活動公開中!



第2次黒部市総合振興計画がスタート



これからの黒部市をどのようなまちにしていけるかという「まちづくり」の基本的な指針となる重要な計画で、市の最上位計画に位置付けられています。

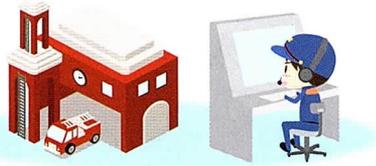
この計画は 2027 年度まで 10 年間の基本構想、前期と後期 5 年間に分けて基本計画と実施計画を策定。ローリング方式で毎年見直しを行いながら、計画的、効率的な施策の展開を図っていきます。

主な施設建設予定

KUROBE CITY PLAN

(仮称)くろべ市民交流センター

旧市役所跡地に図書館、子育て支援センター、働く婦人の家、三日市公民館等を複合
2019 年度まで基本設計、実施設計
2020 年度から工事
2022 年度末開館予定



宇奈月消防庁舎…旧宇奈月庁舎に 市民サービスセンターと併設

現在工事中で 2019 年 1 月から運用開始予定

道の駅「(仮称)くろべ」

国道 8 号線の黒部市総合公園南側に設置
2018 年度から基礎工事等
2019 年度から施設建築工事
2021 年度オープン予定



統合中学校

市内 4 校を 2 校に統合し清明中は高志野中、明峰中は桜井中の校舎を使用
2020 年 4 月開校 清明中学校（高志野・鷹施）、明峰中学校（宇奈月・桜井）



KENBUNROKU

まさゆき mini 見聞録



下仁田ジオパーク



立山黒部開発と歴史を学ぶ



陸前高田市視察



長岡市 米百俵の碑

なりかわ facebook で活動公開中!
成川まさゆき



なりかわ

成川まさゆき後援会

〒938-0014 富山県黒部市植木 107-7
TEL & FAX (0765) 57-1189
Mail/masa.narikawa@gmail.com